

## 第86回 仏教公開講座

# 生きるって ということ

真宗大谷派岐阜教区・岐阜別院

日 時	2011年8月20日(土) 午後6時30分～8時30分		
講 師	森 達也 氏(映像作家)		
講 題	『うしろめたさを生きる』		
日 程	午後6時30分	真宗宗歌・正信偈(同朋奉讃式)	
	6時45分	講 義	
	8時15分	質問の時間	
	8時30分	恩徳讃・閉会	



### 講師紹介

講師紹介 森 達也 (もり たつや)

1956年、広島県に生まれる。立教大学法学部を卒業後、俳優、不動産、広告会社など様々な職種を経て1986年テレビ番組制作会社に入社。ドキュメンタリー制作を始めて経験。以降、報道系、ドキュメンタリー系番組を中心に40本以上の作品を手がける。1996年に会社を退社、フリーとなり1998年オウム真理教荒木浩を主人公とする自主制作映画「A」を公開。海外でも高い評価を受ける。2001年、続編「A2」が山形国際ドキュメンタリー映画祭で特別・市民賞を受賞。以降、執筆を続けながらフリーランスのディレクターとしてテレビドキュメンタリーの制作も並行されている。著書に『「A」マスコミが報道しなかったオウムの素顔』『戦争の世紀を超えて』など多数。

### 先生からのメッセージ

3月下旬に被災地と原発周辺を回りました。自分も含めて現地にいた記者やディレクターやカメラマンたちの多くは、圧倒的な被害を前にして、自分は何を撮るべきなのか、被災者に何を訊ねるべきなのか、それがわからなくなり、茫然と立ちつくしていました。

メディアだけではない。原発問題も含めて日本中が今、ある種の後ろめたさを抱えています。これを一言にすればサバイバーズ・ギルト(生き残ったがゆえの罪の意識)。

日本語にはなかなか訳しづらいこの感覚をキーワードにしながら、震災後の今、命について考えます。

いつでも・どこからでも聞ける「テレホン法話」お電話ください。Tel.058-265-0033